

令和6年度 日光清掃登山（県内山岳団体共催）

7月2日（日）

参加者：会員 仙石（開会式のみ）、菱田、後藤、仲畠、大島、林、麦倉
ゲスト 岩崎、杉浦

行程

湯元ビジターセンター（開会式） == 山王峠 —— 山王帽子山 —— 小太郎山
7：30 8：30 9：30 11：00
—— 太郎山山頂 —— 小太郎山 —— 山王帽子山 —— 山王峠 —— 光徳駐車場（解散）
11：30 12：00 12：15 13：30 14：25 15：00

梅雨を忘れたかのような、晴れ渡る青空の下、毎年恒例で、49回を数える栃木県山岳スポーツクライミング連盟と、本年より日光那須山岳ガイド協会と本支部共催の日光清掃登山が、7月7日行われました。本支部の清掃登山活動に参加したメンバーは、会員の参加6名、ゲスト2名でした。本支部会員でも他の所属山岳会の清掃登山活動に参加し、本支部と別行動をする会員もいました。

開会式では、岳連の自然保護委員の方により進められ、岳連の糸川会長の挨拶に続き共催団体として、支部長代理として仙石委員より挨拶がありました。

開会式後、光徳駐車場に移動して、身支度を調べて、そこから車の集約を行い山王峠に移動し、行動開始となりました。

今回は、7月下旬に予定されている、本支部で開催する親子登山教室の登山実習の下見を兼ねています。主に担当者やサポートする会員で、コースの確認を行いながら、親子登山教室で歩くルートを辿って行きました。そこにゲストも参加して、清掃活動とともに楽しい登山行動をしていきます。

山王峠手前に車を停めて、そこから山王帽子山の登山口まで車道を歩きます。天気も良く気持ちも軽やかに、登山道に入っていきます。登山道は、いきなりの急登になり、九十九折りの登り道に、汗を噴き出させながら山王帽子山頂を先ずは目指します。天気も良く、雨の心配はないものの日差しは強く、山の上といえども暑さが気になる陽気でした。登り初めて一時間ほどで、山王帽子山山頂に到着して、山頂の樹林の合間に見える富士山を楽しみました。そこから一旦下り、そこから小太郎山までの登りにかかります。思いのほか下ったことで、登りがきつく感じます。それでも、一定のペースで山頂までの登りをこなし、小太郎山にたどり着き、そこで



ゴミ拾う様子です

梅雨の時期とは思えない眺望を楽しむことができました。足下には戦場ヶ原や、中禅寺湖、切込湖、近くには男体ファミリーの男体山、女峰山、大真名子、小真名子、そして白根山や根名草山などの日光の山、遠く富士の山から、その手前には南アルプスの山、八ヶ岳、そして北の方には尾瀬や会津の山、上越の山など、絶景を楽しむ展望がありました。

そこから、気持ちの良い尾根上の道を進み、剣が峰の難所を越えると、本日の目的の山、太郎山山頂に着きました。山頂で休憩後記念写真を撮り、山頂での景色を再度楽しみました。そして、下山にかかり、往路を戻り、難所の山王帽子の登り返しに苦しみながらも、山上の風に励まされながら、最後まで皆元気に歩き通しました。

山王峠には14時半前には戻り、そこから光徳駐車場に戻り、ゴミの処分の確認と親子登山教室のコースを確認して、散会となりました。

清掃登山では、ゴミはさほどありませんでしたが、梅雨時期の花々、鳥の鳴き声を楽しみ、そして、日光の山の豊かさや奥深さなどを感じつつ、毎度のこととなりますが趣なる山行となりました。

参加いただいた会員およびゲストの皆さん、大変お疲れ様でした。



太郎山山頂の集合写真